

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、26～30℃台を示し、かなり高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の50%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり26トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣—スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり5kgの水揚げで、前週の63%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり95kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり30kgの水揚げで、前週の5%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり6kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、トビウオなどが1日1統当たり443kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり45kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり140kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり22kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期(9/20～9/24の5日間)の沖合イカ釣(船凍船)は、八戸沖で操業。

沿岸イカ釣(氷蔵船)は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部(沖合船)は、3日延12隻、総計602箱、1航海最高110箱、平均50.2箱。スルメイカ(25～30入)26箱、ケンサキイカ(2～4立)576箱の混獲となった。

(漁業情報サービスセンターより)

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>